

平成 30 年度 地域ケアプラザ事業報告書

■ 施設名

横浜市平戸地域ケアプラザ

■ 事業報告

1 全事業共通

地域の現状と課題について

平戸地区では、これまで社会福祉協議会を中心に進めてきた地域福祉保健計画の推進に向けて、ハートプラン推進委員会の立ち上げが検討されています。昨年、11月から事務局会議が定期的で開催され、区社会福祉協議会地区担当とケアプラザ職員が会議に出席をしています。3月16日に行われた役員会では今後の活動に向けて話し合いが進められました。平戸平和台地区では、空き家活用プロジェクトの一環として開所された「地域交流拠点 にこにこハウス」が1周年を迎え、運営委員を中心に1周年記念式典が行われました。今後も地域活動の拠点として円滑に運営することができるように、地域交流拠点にこにこハウスの運営を支援しています。また、今年度、平戸平和台地区では有事の際に備えて防災マップの作成に取り組んできました。防災マップは、連合町内会未加入世帯を含む全世帯に配布できるように取り組んでいます。

(1) 相談（高齢者・子ども・障害者分野等の情報提供）

地域の身近な相談窓口として、小さな子どもからお年寄りまで幅広い世代の相談を受けています。高齢者のよろず相談や、介護保険の申請については、地域包括支援センターが相談業務を担い、子ども分野や障がい児者分野の相談については地域活動交流コーディネーターもしくは生活支援コーディネーターが担っています。それぞれの相談は、受付から職員対応までの支援経過を記録として要約し、職員間で情報の共有を行っています。また、毎月発行をしている広報誌でも窓口の案内を記載しています。子育てや障がい児者に関しては、地域の行事に出席した際、対象者のご家族から相談を受ける事もありました。

(2) 各事業の連携

主に地域包括支援センター主催による地域ケア会議の開催や介護予防事業は、打ち合わせの段階から5職種で検討し、事前準備から当日の進行に至るまでそれぞれの専門性を発揮し、部門間で連携を図ることができました。小学校の福祉教育や出張講座、中学生の職業体験、実習生の受入れなど、関係機関の依頼に応え、5職種による連携以外に通所介護部門とも連携し、円滑に対応することができました。

(3) 職員体制・育成、公正・中立性の確保

前年度に引き続き、職員の基準配置を欠くことなく事業の運営に努めることができました。また、毎月開催されている第三者委員会で事故・苦情・ヒヤリハット等、を報告し、地域住民をはじめ、施設利用者の公正中立性の確保に努めました。各職種の研修参加については、年間を通して概ね出席ができていたと思われませんが、職員育成の一環として行っている研究発表は、対象者に対してレポートの提出率が低かったため、今後の課題と認識し、より多くの職員からレポートの提出が見込めるように業務改善を図ります。

(4) 地域福祉保健のネットワーク構築

町内会の夏祭、もちつき大会への参加や、地域防災拠点訓練、清掃活動に地域の一員として出席し、地域のネットワークの構築に努めました。また、地域で行われている独り暮らし高齢者の食事会や運動会では、看護職要員として保健師を派遣し、各町内会の依頼に応じています。平戸平和台地区の空き家活用プロジェクトとして始動した「にこにこハウス運営協議会」に毎月出席し、拠点運営の安定化に努めています。

(5) 区行政との協働

連合町内会ごとに取り組まれているハートプラン推進委員会事務局会議に出席し、地域の情報共有に努めました。地域ケア会議については、検討事例の選定を含め、区職員と打ち合わせを重ね、地域ケアプラザエリアのケア会議を1回、個別ケース地域ケア会議を1回、合計2回開催しました。今年度は、戸塚区社会福祉協議会評議員、みつめてネット・虐待防止会議の担当ケアプラザということもあり、それぞれの会議に出席をしています。

2 地域活動交流事業

(1) 自主企画事業

夏休みに「せんそう」のおはなし会を地域のサークルと共催で行いました。幅広い年代の方と「せんそう」について考える良い機会になりました。小学校の福祉教育で地域包括支援センターと連携し認知症サポーター養成講座を行いました。「地域活動拠点にこにこハウス」にて関係機関と連携し事業を行いました。町内会の委員の方と連携して消費者被害の普及啓発活動や健康づくりの測定に協力しました。

(2) 福祉保健活動団体等が活動する場の提供

登録団体の多くは、月単位、週単位と定期的な活動が多いため、利用希望日が重複することがあります。そのような状況をふまえて、各団体の利用目的や希望日時を傾聴し、それぞれのニーズに応じて活動する場を提供しています。毎月発行をしている広報誌には、登録団体の活動内容や会員募集などの記事を掲載し、各団体が継続的に活動することができるように支援しています。

(3) ボランティアの育成及びコーディネート

ボランティア希望者の受け入れを行い、希望とする活動内容を把握し、対象団体への調整業務を行いました。境木中学校の生徒による有志ボランティアを受け入れ、地域活動拠点にこにこハウス1周年記念行事の協力者として派遣しています。また、ケアプラザ内で行われている活動にもコーディネートしています。ケアプラザの利用登録団体として活動をしている親子サークルの提案を受け入れ、玩具の消毒やデイサービス利用者との交流会を行い、世代間の交流が図られました。主に高齢者の生活に関わる困りごとについて、シニアボランティアグループと連携し、窓口業務を担っています。また、毎月行われている定例会に出席し、情報の提供を行いました。その他、所内のボランティア委員会を中心に、ボランティア活動のスキルアップを目的としたボランティア情報交換会を3月に開催しました。

(4) 福祉保健活動等に関する情報収集及び情報提供

毎月、各連合町内会で行われている広報部会をはじめ、地域の各種団体の定例会に出席し、情報収集に努めています。広報部会では、ケアプラザの広報誌を配布し、福祉保健活動に関する情報提供を行っています。文章は、文字の大きさやレイアウトを工夫し、読みやすい広報誌の作成を心がけています。

3 生活支援体制整備事業

(1) 事業実施体制

連合町内会や地区社協からの依頼に応え、地域の活動行事に参加をしています。平戸地区では、公民館を活用した介護予防活動の取り組みを地域包括支援センターと共に開催しています。平戸平和台地区では、空き家活動プロジェクトの一環として立ち上げた「にこにこハウス」の運営に参画し、地域住民の居場所づくりに務めています。

(2) 地域アセスメント（ニーズ・資源の把握・分析）

地域で行なわれている会議やグループ活動に参加し、生活支援サービスリストの更新を行い、地域活動サービス・データベースシステムへ登録・更新を行いました。平戸地区、平和台地区の両地区とも災害時の対策として防災マップを作成しました。5月に行われたケアサポート祭では、自助・共助の取り組みに向けた防災マップ活用の説明が行われました。今年度目標としていた町内会の情報や、ボランティア活動団体等の社会資源リストの視覚化には至りませんでした。今後の課題として取り組んでいきます。また、地域活動者の担い手が不足していることから、これまで町内会活動やボランティア活動に携わったことの無かった方を対象にボランティア養成講座を検討していきます。その一環として、平成31年3月に広報誌・チラシの作り方講座を開催しました。

(3) 連携・協議の場

平戸平和台地区では、地域交流拠点にこにこハウスの運営が2年目を迎え、毎月行われている地域運営協議会に出席し、連携・協議を図っています。平戸地区では、地区社協行事の見直しや、ハートプランの集い（ボランティア情報交換会）の開催が改めて検討されました。

(4) より広域の地域課題の解決に向けた取組

担当地域では、高齢者を対象とした悪徳商法や振り込め詐欺などの消費者被害に関わる報告が増加傾向にあります。今年度は、消費者被害をテーマに地域ケア会議を開催し、警察署、郵便局、コンビニエンスストアと連携を図ることができました。また、毎月行われている生活支援コーディネーター連絡会に出席し、戸塚区や横浜市域の取り組みについて情報を収集することができました。

4 地域包括支援センター運営事業

(1) 総合相談支援業務

①地域におけるネットワークの構築

1. 地域自治会の防災訓練や各行事への参加し、柔軟に対応しました。また、包括レベル地域ケア会議開催や開催までの過程において、地域の民生委員や消費生活推進員、介護保険サービス事業者、行政書士、コンビニエンスストア等と連携しました。
2. 生活支援コーディネーターと地域のインフォーマルサービスリストを作成しましたが、地域内のグループや団体が把握しきれなかったことや、ケアマネジャーや民生委員等の関係者との共有や配布までには至らなかったことは今後の課題です。

②実態把握

生活支援コーディネーターや地域活動コーディネーターが作成した、地域のアセスメントシートやインフォーマルサービスリストの情報更新に協力しました。また、相談訪問する際に得た地域の情報等をミーティング時に共有することで、地域の実態把握に努めました。

③総合相談支援

1. 相談案件で紹介した事業所については、視覚化していくことで公正中立を確保できるように配慮しました。
2. 各研修に参加をした際、ミーティング等でフィードバックし、内容の共有を図りました。
3. 継続フォロー支援が必要なケースについては、適宜カンファレンスを行い、包括内で支援方針の共有を図りました。一方で、前年度に比べると総合相談件数が増加傾向（H29年12月末 1040件／H30年12月末 1470件）にありました。

(2) 権利擁護業務

①成年後見制度の活用促進・消費者被害の防止

1. 東戸塚エリア周辺の地域包括支援センターを中心に、共同するセンター5か所と「ふくしものしり大学」を開催し、「遺言」をテーマとした講演会を行いました。
2. 弁護士、司法書士を講師として招き、「ケアマネサロン」でケアマネジャー向けに成年後見制度についての勉強会を開催しています。
3. 「消費者被害の防止」をテーマとした包括レベル地域ケア会議を開催し、地域で見守るネットワーク構築の支援を行いました。
4. 本人との関係性は疎遠であった親族を支援し、後見申立ての支援を行いました。その他、司法書士等と連携し、本人から相談のあった案件について、後見制度利用の支援に務めました。

②高齢者虐待への対応

1. 介護者の支援として「介護者のつどい」を隔月で年間6回開催しています。今年度の1回の平均参加者人数は9名、新規参加者は3名でした。
2. 虐待ケース、疑いのケースについては、区包括カンファレンス等で区担当ケースワーカーや保健師、ケアマネジャーと状況を共有し対応しました。

③認知症

1. 認知症サポーターキャラバンとして、エリア内の小学校2校で認知症サポーター養成講座を行いました。
2. 相談受付時に「みつけてネット」の周知と活用を案内した。また、地域の協力事業所等から話を聞き、エリア内の認知症高齢者等の実情把握に努めた。継続フォロー支援が必要なケースについては、区担当ケースワーカーや保健師等とカンファレンスを開催し対応しました。
3. 介護者のストレス軽減を目的とした「介護者のつどい」を相談受付時に案内しました。

(3) 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

①地域住民、関係機関等との連携推進支援

1. 生活支援コーディネーターや地域活動コーディネーターと地域アセスメントシートやインフォーマルサービスリストの情報更新を行いました。地域内のグループや団体を把握しきれなかったことや、情報の開示（特に連絡問い合わせ先となる個人情報）了承を取ることに時間がかかり、ケアマネジャーや関係者への十分な情報提供までは至りませんでした。
2. 個別相談対応や包括レベル地域ケア会議開催を通じて、地域住民や民生委員、消費生活推進員、介護保険サービス事業者や地域の協力事業者等の関係機関との連携を推進しました。
3. 「ケアマネサロン」にてインフォーマルサービスである地域のシニアボランティアから活動の内容の報告をしました。

②医療・介護の連携推進支援

1. ほーめっと（戸塚区在宅療養連絡会）主催の研修（5回）に参加し、情報を共有、医療・介護の連携推進を行いました。
2. ケアプラザ協力医と定期的に面談し、地域で支援の必要とみられる利用者の情報や地域情報等の共有を行いました。

③ケアマネジャー支援

1. 「ケアマネサロン」を開催し、ケアマネジャー間の情報共有の場を提供しました。また、サロンでは事例検討や成年後見制度をテーマとした勉強会を含み、ケアマネジメント力の質の向上を図りました。
2. ケアマネジャー支援で連携が円滑に図れるように、居宅介護支援事業所やグループホーム、小規模多機能型居宅介護へ訪問し、顔の見える関係性づくりを行いました。
3. 新任・就労予定ケアマネジャー支援では、戸塚区主任ケアマネジャー連絡会で研修会を開催し、施設見学を実施しています。

(4) 多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築・地域ケア会議

多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築・地域ケア会議

1. 個別レベル地域ケア会議「他県からの呼び寄せ高齢者の支援」を開催し、介護予防に前向きな高齢者に地域インフォーマルサービスの提供や地域行事等への参加声かけを意識的に行うことができるように普及啓発に努めました。
2. 包括レベル地域ケア会議「消費者被害の防止」を開催し、民生委員、消費生活推進員、警察、行政書士、地域の協力事業者、介護保険サービス事業者等が参加、消費者被害、詐欺被害の最新手口の共有と、予防するための手立てについて話し合いを行いました。その過程で、地域の見守りネットワークの構築に向けて支援を行いました。
3. 過去に行われた包括レベル地域ケア会議での話し合いから、住民相互の支える仕組みづくりの必要性を実感していましたが、地域アセスメントが不十分であり、具体的な計画を進めることが出来ませんでした。

(5) 介護予防ケアマネジメント（指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業）

介護予防ケアマネジメント（指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業）

1. 介護予防マネジメントに特化した事例検討会を開催することができなかつたため、今後の課題として取り組みます。
2. 「地域交流拠点にこここハウス」等、地域のインフォーマルサービスを組み込み、地域特性を活かした介護予防プラン作成、支援することができました。
3. 委託ケースについて、ケアマネジャーから依頼があった担当者会議には可能な限り出席しました。昨年度は合計68件の出席でしたが、今年度は12月末で106件の担当者会議に出席しています。

(6) 一般介護予防事業

一般介護予防事業

1. 介護予防教室の取り組みをケアプラザ内での開催以外にも地域の公民館をお借りして開催しています。
2. エリア内にある3つの高齢者住宅の住民懇談会を周り、健康相談を受け付けたり、介護予防について講話しました。
3. 農協で行われている相談会や地域行事を訪問し、BCチェッカーや血圧測定など、健康チェックブースを設け、健康に対する助言や介護予防教室への参加を促進しました。

5 その他

施設の適正な管理について

(1) 施設の維持管理について

専門業者と契約し、日常清掃、定期清掃、建物・設備の保守管理業務を委託しています。また、経年劣化、故障につながる修繕については適宜、戸塚区と協議を行っています。また、法令で定められた建物、設備等の点検を実施し施設利用の安全と利便を図りました。敷地内の植栽等の管理は園芸ボランティアと植木業者による除草、剪定を行い四季折々の景観と衛生の確保に努めました。

(2) 効率的な運営への取組について

運営協議会の開催をはじめ、利用者アンケート、ご意見箱、第3者委員からご意見をいただき効率的な運営を心がけて取組みました。また、地区社協、連合町内会、民生委員児童委員協議会等の会議、地域活動行事に出席し、地域の意見、要望等を運営に反映させるよう努めました。高額な物品購入や故障箇所の修繕実施については、2社による見積比較のもと、効率かつ適切な業者選択を心がけて行いました。

(3) 苦情受付体制について

今年度、送迎車の運転に関する苦情が1件あったため、職員会議で共有し、改めて交通規則・交通マナーについて確認をしました。今後も、苦情対応マニュアルに基づいて、苦情責任者、苦情受付責任者が苦情申し立てに対して迅速に対応し、事実確認のもと誠意ある対応に務めます。また、職員会議で情報を共有し、第三者委員会でも報告を行います。

(4) 緊急時（防犯・防災・その他）の体制及び対応について

1. 悪天候が予想される場合は、早出勤務を心がけ緊急時の対応に備えました。
2. 来館者への声かけ・挨拶・用務確認を行い、日頃からの防犯対策に努めています。また、ケアプラザ閉館時は、機械警備による防犯対策を行っています。

(5) 事故防止への取組について

利用者の転倒など、サービス提供中に人身事故が発生した際は、速やかに医療機関へ受診することを心がけています。ご家族、関係機関への報告をした後、事故報告書を作成し、原因究明のもと、再発防止策を策定し職員で対応の統一を図っています。

(6) 個人情報保護の体制及び取組について

日常業務では、個人情報の持ち出しを控え、文書を発送する際はダブルチェックを徹底しています。また、個人情報は鍵のかかる書庫で管理し、パソコンはチエーン錠で固定し、盗難の防止に努めています。個人情報を取り扱う職員を対象に、個人情報保護研修を実施しています。

(7) 情報公開への取組について

事業計画、事業報告、事業予算、決算の各帳票を館内で閲覧できるように用意し、法人ウェブサイト、広報誌による自主事業の周知、広報活動を行いました。また、今年度は、通所介護部門と居宅介護部門でサービス情報公表の調査がありました。

(8) 人権啓発への取組について

4月に行われた、法人理念研修では、全職員を対象に、人権研修を実施し、日頃の業務の振り返りと対人援助について学びました。また、法人内のコンプライアンス委員会を中心に、法令遵守の徹底を職員研修誌に記載し、人権啓発に取り組んでいます。

(9) 環境等への配慮及び取組について

ヨコハマ3R夢プランに合わせ、ごみ、資源の分別収集に取り組みました。5月に行われたケアサポート祭りでは、一部でリユース食器を使用し、ごみの排出削減に努めています。草木の廃棄処分については、数日間天日干しを行い、水分を蒸発させてから処分をするように心がけました。また、家電管理計を使用し冷暖房の適正運転や雨水を利用した植栽への灌水、散水等で省エネと併せて、環境に配慮した取組みに努めました。

介護保険事業

● 指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業

《職員体制》

看護師 1名
社会福祉士 2名
主任ケアマネジャー 1名

《目標に対する成果等》

公平中立の原則のもと、委託のできる介護予防ケアプランは、特定の事業所に偏ることなく居宅介護支援事業所へ委託しました。サービス担当者会議や国保連への請求事務業務における実績入力、モニタリング報告を通し、委託をしたケースの状況把握をしました。

《実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）》

実費負担なし

《その他（特徴的な取組、PR等）》

委託先ケアマネジャーとの連携として定期的なサロンを開催、インフォーマルサービスや地域資源の紹介を行い、ケアプランに活用いただけるよう努めました。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
226	227	220	223	220	224
10月	11月	12月	1月	2月	3月
233	241	241	241	243	240

● 居宅介護支援事業

《職員体制》

常勤4名（主任介護支援専門員3名）

《目標に対する成果等》

法令の遵守、利用者及び家族等の意向、意見を尊重し、自立した在宅生活の課題を抱えた利用者への支援は区役所、地域包括支援センター等と積極的に連携を行い、公平中立な立場で業務を遂行致しました。毎週ケアマネ会議を開催し情報の共有、ケース検討、研修報告等を行い、また資質の向上を目指し、研修計画に基づき内部、外部研修を受講し研鑽を深めました。

《実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）》

実費負担なし

《その他（特徴的な取組、PR等）》

常に連絡が取れる体制を整え、夜間・日祝祭日を含め、24時間対応を実施

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
136	136	136	141	136	141
10月	11月	12月	1月	2月	3月
142	143	140	140	137	141

● 通所介護・認知症対応型通所介護

《提供するサービス内容》

- 送迎・食事・健康管理
- 入浴・排泄介助
- レクリエーション活動
- 生活相談

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

1 割負担分		・ 2 割負担分	
（要介護 1）	704 円	（要介護 1）	1,407 円
（要介護 2）	831 円	（要介護 2）	1,662 円
（要介護 3）	963 円	（要介護 3）	1,926 円
（要介護 4）	1,095 円	（要介護 4）	2,190 円
（要介護 5）	1,227 円	（要介護 5）	2,453 円

- 食費負担 750 円（おやつ代含む）

《事業実施日数》 週 7 日

《提供時間》 9 : 30 ~ 16 : 30

《職員体制》

管理者	1 名（常勤職員兼務	1 名）
生活相談員	3 名（常勤職員兼務	3 名）
介護職員	16 名（常勤職員兼務	4 名・非常勤職員兼務 12 名）
看護職員	4 名（非常勤職員兼務）	
機能訓練指導員	4 名（看護職員兼務）	
運転業務員	4 名	計 25 名

《目標に対する成果等》

1. 年間計画で定められた研修計画は予定通り実施できました。今年度は横浜市の実地指導・介護サービス情報公表があり、改めてこれまでの運営を振り返ることができた。
2. 施設的环境を活かした屋外プログラムの「お散歩スタンプラリー」を実施しました。外気浴・日光浴などで中庭の散歩や、敷地内の散歩（歩行練習）を行いました。季節行事への参加として、利用者のご家族や地域ボランティアの協力が多くありました。

《利用者実績（延べ人数）》

【単位：人】

4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月
451	489	518	533	572	518
10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
510	482	462	450	480	526

● 介護予防通所介護・第1号通所事業・介護予防認知症対応型通所介護

《提供するサービス内容》

- 送迎・食事・健康管理
- 入浴・排泄介助
- レクリエーション活動
- 生活相談

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

・ 1割負担分

(要介護1)	1,072	円
(要介護2)	1,189	円
(要介護3)	1,305	円
(要介護4)	1,423	円
(要介護5)	1,539	円

・ 2割負担分

(要介護1)	1,407	円
(要介護2)	1,662	円
(要介護3)	1,926	円
(要介護4)	2,190	円
(要介護5)	2,453	円

- 食費負担 750 円 (おやつ代含む)

《事業実施日数》 週 7日

《提供時間》 9:30 ~ 16:40

《職員体制》

管理者	1名 (常勤職員兼務	1名)
生活相談員	3名 (常勤職員兼務	3名)
介護職員	6名 (常勤職員兼務	1名・非常勤職員兼務 5名)
看護職員	4名 (非常勤職員兼務)	
機能訓練指導員	4名 (看護職員兼務)	計 13名

《目標に対する成果等》

体操やレクリエーションなど、利用者のニーズに見合ったプログラムを意識し、実践することができました。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

利用者・ご家族の要望に応じ、柔軟に対応します。

《利用者実績（契約者数）》

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
13	12	11	11	10	9
10月	11月	12月	1月	2月	3月
10	10	9	8	9	10

平成30年度「平戸地域ケアプラザ」
収支予算書及び報告書(一般会計)<地域活動>

収入の部

(税込、単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	16,768,500	0	16,768,500	16,768,500	0	横浜市より
利用料金収入			0		0	この列は入力しない
指定管理料充当 事業			0		0	
自主事業収入			0		0	この列は入力しない
雑入	0		0	21,905	△ 21,905	
印刷代			0	21,905	△ 21,905	
自動販売機手数料			0	0	0	この列は入力しない
駐車場利用料金収入			0	0	0	この列は入力しない
その他(指定管理料充当)			0		0	
その他(施設使用料相当額 法人負担分)	3,587,500		3,587,500	3,587,500	0	
その他(提案時控除 法人負担分)	2,372,960		2,372,960	2,372,960	0	
収入合計	22,728,960	0	22,728,960	22,750,865	△ 21,905	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	9,110,505		9,110,505	9,689,349	△ 578,844	
本俸	6,561,576		6,561,576	6,551,028	10,548	
社会保険料	811,033		811,033	765,016	46,017	
手当計	1,620,109		1,620,109	1,980,767	△ 360,658	
健康診断費	0		0	9,676	△ 9,676	
勤労者福祉共済掛金	32,250		32,250	183,562	△ 151,312	市社協共済掛金
退職給付引当金繰入額	50,062		50,062	89,442	△ 39,380	
その他	35,475		35,475	109,858	△ 74,383	ハマふれんど、インフルエンザ費用
事務費	1,120,600		1,120,600	1,292,205	△ 171,605	
旅費	0		0	18,400	△ 18,400	
消耗品費	300,000		300,000	196,751	103,249	
会議随費	0		0	5,499	△ 5,499	
印刷製本費	260,000		260,000	60,263	199,737	
通信費	160,000		160,000	175,221	△ 15,221	
使用料及び賃借料	0		0	106,823	△ 106,823	
横浜市への支払分			0	106,823	△ 106,823	委託料返還金
その他			0		0	
備品購入費	0		0	0	0	
図書購入費	0		0	0	0	
施設賠償責任保険	93,600		93,600	100,000	△ 6,400	
職員等研修費	0		0	0	0	
振込手数料	0		0	20,928	△ 20,928	
リース料	52,000		52,000	141,698	△ 89,698	
手数料	30,000		30,000	0	30,000	
地域協力費	0		0	0	0	
その他	225,000		225,000	466,622	△ 241,622	
事業費	42,000		42,000	179,155	△ 157,478	
運営協議会経費	42,000		42,000	21,677	20,323	予算：指定額
指定管理料充当 事業	0		0	157,478	△ 157,478	
管理費	6,751,000			6,720,630	30,370	
建築物・建築設備点検	0		0	0	0	予算：指定額
光熱水費	4,500,000	0	4,500,000	4,470,471	29,529	
電気料金	1,500,000	0	1,500,000	1,374,900	125,100	
ガス料金	1,500,000	0	1,500,000	1,173,857	326,143	
水道料金	1,500,000	0	1,500,000	1,921,714	△ 421,714	
清掃費	782,478		782,478	869,012	△ 86,534	
修繕費	474,000		474,000	367,177	106,823	予算：指定額
機械整備費	194,941		194,941	194,941	0	
設備保全費	799,581		799,581	819,029	△ 19,448	
空調衛生設備保守	248,453		248,453	248,453	0	
消防設備保守	93,649		93,649	93,649	0	
電気設備保守	205,538		205,538	205,538	0	
害虫駆除清掃保守	46,825		46,825	46,825	0	
駐車場設備保全費	0		0	0	0	
その他保全費	205,116		205,116	224,564	△ 19,448	
共益費	0		0	0	0	
その他	0		0	0	0	
公租公課	983,440		983,440	779,218	204,222	
事業所税			0		0	この列は入力しない
消費税	983,440		983,440	779,218	204,222	
印紙税					0	この列は入力しない
その他()					0	この列は入力しない
事務経費 (計算根拠を説明欄に記載)	0	0	0	0	0	この列は入力しない
本部分					0	この列は入力しない
当該施設分					0	この列は入力しない
ニーズ対応費					0	この列は入力しない
支出合計	18,007,545	0	11,256,545	18,660,557	△ 673,335	
差引	4,721,415	0	11,472,415	4,090,308	651,430	

自主事業費収入	0		0	0	0	
自主事業費支出	0		0	0	0	
自主事業収支	0	0	0	0	0	⇒自主事業(指定管理料充当の自主事業)費
管理許可・目的外使用許可収入	0		0	0	0	駐車場利用料金・自動販売機手数料収入等法人収入
管理許可・目的外使用許可支出	0		0	0	0	使用料(横浜市への支払等)
管理許可・目的外使用許可収支	0		0	0	0	

平成30年度「平戸地域ケアプラザ」
収支予算書及び報告書(特別会計)

収入の部

(税込、単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料(包括)	29,232,000		29,232,000	29,332,000	△ 100,000	横浜市より
指定管理料(介護予防)	151,000		151,000	151,000	0	横浜市より
指定管理料(生活支援)	5,789,000		5,789,000	5,789,000	0	横浜市より
利用料金収入			0	0	0	
指定管理料充当事業(包括)			0	0	0	
指定管理料充当事業(介護予防)			0	0	0	
指定管理料充当事業(生活支援)			0	0	0	
自主事業収入			0	0	0	
雑入	20,000	0	20,000		20,000	
印刷代	20,000		20,000	21,905	△ 1,905	コピー使用料収入
自動販売機手数料			0	0	0	
駐車場利用料収入			0	0	0	
その他(指定管理充当分)			0	0	0	
その他(提案時控除 法人負担分)	9,552		9,552	9,552	0	雑収入
収入合計	35,201,552	0	35,201,552	35,281,552	△ 80,000	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	22,897,849		22,897,849	30,542,779	△ 7,644,930	
本俸	13,410,540		13,410,540	16,930,644	△ 3,520,104	
社会保険料	3,174,365		3,174,365	4,230,452	△ 1,056,087	
手当計	5,904,233		5,904,233	7,835,115	△ 1,930,882	
健康診断費	0		0	45,510	△ 45,510	
勤労者福祉共済掛金	27,750		27,750	706,436	△ 678,686	
退職給付引当金繰入額	350,436		350,436	454,091	△ 103,655	
その他	30,525		30,525	340,531	△ 310,006	
事務費	780,000		780,000	1,737,866	△ 957,866	
旅費	20,000		20,000	40,330	△ 20,330	
消耗品費	130,000		130,000	370,885	△ 240,885	
会議随費	0		0	4,199	△ 4,199	
印刷製本費	150,000		150,000	88,205	61,795	
通信費	200,000		200,000	276,908	△ 76,908	
使用料及び賃借料	0		0	154,399	△ 154,399	
横浜市への支払分			0	154,399	△ 154,399	横浜市返還金
その他	0		0	0	0	
備品購入費	0		0	0	0	
図書購入費	0		0	0	0	
施設賠償責任保険	0		0	0	0	
職員等研修費	30,000		30,000	12,300	17,700	
振込手数料	0		0	972	△ 972	
リース料	0		0	180,184	△ 180,184	
手数料	0		0	0	0	
地域協力費	0		0	0	0	
その他	250,000		250,000	609,484	△ 359,484	
事業費	1,140,000		1,140,000	825,665	314,335	
協力医	630,000		630,000	504,000	126,000	予算:指定額
指定管理料充当自主事業(包括)	50,000		50,000	57,415	△ 7,415	
指定管理料充当事業(介護予防)	151,000		151,000	149,084	1,916	予算:指定額
指定管理料充当自主事業(生活支援)	309,000		309,000	115,166	193,834	
管理費	1,787,352		1,787,352	1,937,034	△ 149,682	
建築物・建築設備点検			0	0	0	予算:指定額
光熱水費	1,188,352	0	1,188,352	1,338,909	△ 150,557	
電気料金	350,000	0	350,000	789,785	△ 439,785	
ガス料金	390,000	0	390,000	245,896	144,104	
水道料金	448,352	0	448,352	303,228	145,124	
清掃費	230,999		230,999	230,999	0	
修繕費	126,000		126,000	97,601	28,399	予算:指定額
機械整備費	51,818		51,818	51,818	0	
設備保全費	190,183		190,183	217,707	△ 27,524	
空調衛生設備保守	66,043		66,043	66,043	0	
消防設備保守	24,892		24,892	24,892	0	
電気設備保守	54,634		54,634	54,634	0	
害虫駆除清掃保守	12,446		12,446	12,446	0	
駐車場設備保全費	0		0	0	0	
その他保全費	32,168		32,168	59,692	△ 27,524	
共益費	0		0	0	0	
その他	0		0	0	0	
公租公課	0	0	0	0	0	
事業所税			0	0	0	
消費税	0		0	0	0	
印紙税			0	0	0	
その他()			0	0	0	
事務経費(計算根拠を説明欄に記)	0	0	0	0	0	
本部分			0	0	0	
当該施設分			0	0	0	
二一ス対応費			0	0	0	
支出合計	26,605,201	0	26,605,201	35,043,344	△ 8,438,143	
差引	8,596,351	0	8,596,351	238,208	8,358,143	

自主事業収入						
自主事業支出						
自主事業収支	0			0		⇒自主事業(指定管理料充当の自主事業)費
管理許可・目的外使用許可収入				0		駐車場利用料金・自動販売機手数料収入等法人
管理許可・目的外使用許可支出				154,399		使用料(横浜市への支払等)、駐車場設備保全費
管理許可・目的外使用許可収支				△ 154,399		

平成 30年度 地域ケアプラザ収支予算書及び報告書<介護保険事業分>

施設名:平戸地域ケアプラザ

平成30年4月1日～平成31年3月31日
(単位:千円)

	科目	介護予防支援			居宅介護支援			通所介護			予防通所介護・第1号通所介護			認知症対応型通所介護		
		予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引
収入	介護保険収入	1550000	1654793	-104793	26435000	21686275	4748725	76651660	50184990	26466670	5899000	5085359	813641	0	14709974	-14709974
	その他	0	0	0	583200	709237	-126037	7790700	14998857	-7208157	0	244222	-244222	0	1887809	-1887809
	介護予防ケアマネジメント費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	事業・負担金収入	0	0	0	0	0	0	6640700	6763176	-122476	0	244222	-244222	0	1887809	-1887809
	認定調査委託料収入	0	0	0	583200	709236	-126036	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	利用者食費収入	0	0	0	0	0	0	0	6280100	-6280100	0	0	0	0	0	0
		0	0	0	0	0	0	0	334122	-334122	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	1	-1	1150000	1621459	-471459	0	0	0	0	0	0
	収入合計(A)	1550000	1654793	-104793	27018200	22395512	4622688	84442360	65183847	19258513	5899000	5329581	569419	0	16597783	-16597783
支出	人件費	20056565	19541054	515511	0	0	0	55124055	55615113	-491058	0	0	0	0	0	0
	事務費	1015400	827278	188122	0	0	0	18439000	14304903	4134097	0	0	0	0	0	0
	事業費	1060000	1512738	-452738	0	0	0	15659800	19970556	-4310756	0	0	0	0	0	0
	管理費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0	0	6401	-6401	0	0	0	0	0	0
	利用者負担軽減額	0	0	0	0	0	0	0	375	-375	0	0	0	0	0	0
	消費税	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	介護予防プラン委託料	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0	0	6026	-6026	0	0	0	0	0	0
支出合計(B)	22131965	21881070	250895	0	0	0	89222855	89896973	-674118	0	0	0	0	0	0	
収支(A)-(B)	-20581965	-20226277	-355688	27018200	22395512	4622688	-4780495	-24713126	19932631	5899000	5329581	569419	0	16597783	-16597783	

※ 介護予防プランを他事業者へ委託する場合の取扱は、介護報酬を一旦全額収入に計上した後、他事業者へ委託料として支払う分を支出に計上してください。

※ 上記以外の事業(認知症対応型通所介護等の事業)を実施している場合は、事業ごとに列を増やして同じように記載をしてください。

平成30年度 自主事業収支報告書

横浜市平戸地域ケアプラザ

事業名	①募集対象者	自主事業決算額							
	②募集人数	総経費	収入			支出			
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	その他	講師謝金	材料費	その他	
かたつむり	未就園児親子	24843	地活	21243	3600				24843
	50名		包括						
			介護						
	100円		生活						
気軽なサロン	高齢者	119325	地活	525	118800			119325	
	50名		包括						
			介護						
	300円		生活						
ケアサポート祭	地域全般	212994	地活	95764	117230			212994	
	なし		包括						
			介護						
	なし		生活						
こどもボランティア	青少年	11119	地活	11119	0				11119
	20名		包括						
			介護						
	なし		生活						
夏休み工作教室	青少年	7269	地活	6269	1000			7269	
	12名		包括						
			介護						
	100円		生活						
バレンタイン手作りお菓子教室	青少年	5273	地活	2873	2400			5273	
	20名		包括						
			介護						
	200円		生活						
東俣野特別支援学校交流会	なし	7782	地活	7782				7782	
	なし		包括						
			介護						
	なし		生活						
平戸っこ	未就園児親子	9521	地活	6121	3400				9521
	50名		包括						
			介護						
	なし		生活						
夏の特別おはなし会	なし	1000	地活	1000					1000
	50名		包括						
			介護						
	なし		生活						
影絵鑑賞会	なし	4782	地活	4782			4782		
	50名		包括						
			介護						
	なし		生活						
			地活						
			包括						
			介護						
			生活						
			地活						
			包括						
			介護						
			生活						

事業ごとに別紙に記載してください。

平成30年度 自主事業報告書

横浜市平戸地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
平戸っこ	地域で支えていく子育て支援を目的に地域のボランティア、ケアプラザ職員が中心に子育てサロンを開催している。 同じ年代のお子さんを持つ親子のふれあい広場。地域のボランティアさんの協力のもと、ケアプラザのおもちゃで遊んだり、絵本・紙芝居の読み聞かせ等を行なっている。	第2・4木曜日 (年24回)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
幼児のひろば 「かたつむり」	平戸地区の養育者・乳幼児(1~3歳)を対象に、絵本の読み聞かせや、手遊びなどを実施して親子の交流を深めてもらう。 事業の実施にあたっては、平戸地区保健活動推進委員会の協力を頂いて開催している。	第3金曜日 (年12回)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
こどもボランティア	小・中学生を対象にしたボランティア育成事業。 障がい・子育て・高齢などテーマを決めて活動をする。	通年 4回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
リズムであそぼ	音楽を通して親子が交流がもて、音楽を楽しみ親子の親睦を深める。	通年 6回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
あったまり場	精神障害者の居場所作りを目的に、定期的で開催している。フリースペースとして解放し、当事者とボランティアがお互いに交流を深める場として事業を展開する。	第3金曜日 (年12回) 普及啓発講演会 年1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
気軽なサロン	日本舞踊や音楽の鑑賞会など、毎月ごとに企画を考え、地域の高齢者を対象に交流を深めてもらうサロン。	第3土曜日 (年12回)

平成30年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
第15回平戸地域ケアサポート祭	地域活動団体の交流の場、ボランティアや当事者団体の活動の場を提供することを目的としたお祭り	5月21日

事業名	目的・内容	実施時期・回数
福祉教育	【目的】高齢者、障がい者の理解を深めるとともにケアプラザについて広報を行います。 【内容】平戸台小学校4年生・平戸小学校3年生・境木小学校3年生の総合学習の時間に協力し、高齢者について理解を深められる講座を開催します。①ケアプラザの説明、②高齢者疑似体験・車椅子体験（出前講座含）、③デイサービス見学・交流・発表を行います。	通年

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
おやこのひろば	親子で遊べる広場としてケアプラザを解放する。 利用者アンケートに基づき、午前中に親子で遊べる広場として開放している。 親子で自由遊びを行なう空間。	第2・4金曜日AM 年24回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
夏休み工作教室	地域で活躍している幅広い年代の方々と交流し親睦を図る。他の地域の子ども達と交流し親睦を図る。	8月

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ボランティア情報交換会	ケアプラザを拠点に活動しているボランティア同士の情報交換会。ボランティア団体（個人）の年間の振り返りとして、各団体に発表の場を提供。目的の異なるボランティア団体を集め、相互の情報交換会を実施した。	3月

事業名	目的・内容	実施時期・回数
東俣野特別支援学校交流会	東俣野特別支援学校は、肢体不自由・知的障がい等がある児童・生徒が通学しています。児童・生徒が夏休みを感じられるように学校教職員・PTAと協力を図り交流会を実施。 地域のボランティア・こどもボランティアの協力を得て、夏の風物詩である流しそうめん・すいか割り等を楽しめる環境を整え、また障がいを理解する場面を設け、分け隔てない交流を実施しました。	7月

平成30年度 自主事業収支報告書

横浜市平戸地域ケアプラザ

事業名	①募集対象者	自主事業決算額						
	②募集人数	総経費	収入			支出		
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	その他	講師謝金	材料費	その他
介護者のつどい	介護者(高齢者の)	16811	地活					
	20		包括	16811			16811	
			介護					
	なし		生活					
ケアマネット	介護支援専門員	1700	地活					
	30名		包括	1700				1700
			介護					
	なし		生活					
ケアマネサロン	介護支援専門員	23932	地活					
	30名		包括	23932				23932
			介護					
	なし		生活					
地域ケア会議	なし	7327	地活					
	なし		包括	7227				7327
			介護					
	なし		生活					
ふくしもの知り大学	地域全般	7645	地活					
	なし		包括	7645				7645
			介護					
	なし		生活					
			地活					
			包括					
			介護					
			生活					
			地活					
			包括					
			介護					
			生活					
			地活					
			包括					
			介護					
			生活					
			地活					
			包括					
			介護					
			生活					
			地活					
			包括					
			介護					
			生活					

事業ごとに別紙に記載してください。

平成30年度 自主事業報告書

横浜市平戸地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
ケアマネサロン	居宅介護支援事業所 介護支援専門員の資質向上、同職種の情報共有や交流の場として開催。事例検討会や講演会等。	年4回(3ヶ月に1回)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
Go!Go! 健康講座 「元気なうちから介護予防!」	《ロコモ予防》(ハマトレ) 講師:横浜市体育協会 木野村健人先生(戸塚スポーツセンター) 元気なうちから介護予防 高齢者のロコモ予防についての講演とハマトレの指導	通年(連続講座)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
Go!Go! 健康講座 (介護予防教室) 「口腔ケア」 ～元気に過ごすための口腔ケアと貯筋～	《口腔ケア》 講師:石川歯科医院 石川茂樹先生 元気に過ごすための口腔ケアと貯筋	通年(連続講座)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
Go!Go! 健康講座 「栄養について考えよう」	《低栄養予防》 講師:管理栄養士 長谷川利希子先生 元気なうちから介護予防～栄養について考えよう～ おいしく食べて、いつまでも健康に 講演、レシピ紹介、試食	通年(連続講座)

平成30年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
Go!Go! 健康講座 ロコモ予防と笑いヨガで免疫力アップ	《ロコモ予防と笑いヨガ》 講師：健康運動指導士 根本絢奈先生・関直哉先生（戸塚共立健康支援センター） ロコモ予防と笑いヨガで免疫力アップ	通年（連続講座）

事業名	目的・内容	実施時期・回数
Go!Go! 健康講座 おうちでできる腰痛予防エクササイズ	《おうちで出来る腰痛予防エクササイズ》 講師：健康運動指導士 根本絢奈先生・関直哉先生（戸塚共立健康支援センター） 元気なうちから介護予防 ～おうちでできる腰痛予防エクササイズ～ 自宅で気軽にできる体操を紹介。 講演、実技	通年（連続講座）

事業名	目的・内容	実施時期・回数
Go!Go! 健康講座 貯筋で健康生活	《貯筋で健康生活》 講師：日本体育協会公認スポーツ指導士 中澤知子先生（体操マスター上級指導員） ロコモ予防と笑いヨガで免疫力アップ	通年（連続講座）

事業名	目的・内容	実施時期・回数
Go!Go! 健康講座 「低栄養予防」	《栄養改善に向けての簡単レシピ紹介（試食付き）》 講師：管理栄養士 長谷川利希子先生	通年（連続講座）

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
介護者のつどい	家族等を介護している方々が懇談会を通して、日々の介護の中で感じたこと、介護方法などで困っていること等、同じ悩みを抱える方々や経験した方々の交流を通じて、介護負担の軽減を図ることを目的に開催した。 内容は懇談会を中心に、介護・保健・福祉に関する情報提供など。	偶数月 第4火曜日 ※12月のみ第3火曜日 年6回

平成30年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ふくしものしり大学	東戸塚エリア周辺の地域包括支援センターを中心に、共同するセンター4か所と権利擁護に関する普及啓発を目的に開催した。	年4回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
地域ケア会議	<p>地域の実情に沿って課題を把握し、①個別ケース課題をどのように解決していくか、②地域資源をどのように構築していくべきか等を話し合い、解決していく手段を導き出すこと目的に開催した。</p> <p>内容は下記テーマを中心に多業種関係者が一度に集まり、会議開催した。</p> <p>■平戸地区 団地在住、高齢者夫婦の地域との交流についての振り返り。団地住民の交流や現在置かれている状況等の把握と今後に向けて。</p> <p>■平戸平和台地区 消費者被害を未然に防ぐことができた認知症独居高齢者のケース振り返り。</p>	年2回

事業名	目的・内容	実施時期・回数

平成30年度 自主事業収支報告書

横浜市平戸地域ケアプラザ

事業名	①募集対象者	自主事業決算額						
	②募集人数	総経費	収入			支出		
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	その他	講師謝金	材料費	その他
歌声サロン	地域の方	50512	地活					
	20名		包括					
			介護					
	200		生活	28312	22200			50512
にこにこ体操	地域の方	900	地活					
	20名		包括					
			介護					
	100		生活	700	200			900
にこにこハウス事業1周年記念		9260	地活					
			包括					
			介護					
			生活	9260				9260
プロに学ぶチラシ作り講座	地域の方	76894	地活					
	30名		包括					
			介護					
	なし		生活	76894			76894	
			地活					
			包括					
			介護					
			生活					
			地活					
			包括					
			介護					
			生活					
			地活					
			包括					
			介護					
			生活					
			地活					
			包括					
			介護					
			生活					
			地活					
			包括					
			介護					
			生活					
			地活					
			包括					
			介護					
			生活					

事業ごとに別紙に記載してください。

平成30年度 自主事業報告書

横浜市平戸地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
歌声サロン	<p>高齢者が楽しみに外出する場を作り、社会的な孤立化の予防と健康長寿につなげる目的のもと「歌声サロン」を実施、運営します。約束しなくても、楽しみにして出かけられ、地域とつながりができる居場所。ここに来れば誰かに会え、そして地域で顔なじみができる居場所。歌声サロンを通して緩やかな地域のつながり作りも目指しています。</p> <p>音楽ボランティア団体「ひまわり」「軽音楽クラブ」「あじさい」などに協力してもらい実施。</p> <p>平戸平和台地区の「地域交流拠点にこここハウス」を会場として、展開。</p> <p>歌うことに興味・関心がある方が、童謡・唱歌など懐かしい楽曲にあわせて、生演奏にあわせて楽しいひとときを過ごせる機会を提供。</p>	通年

事業名	目的・内容	実施時期・回数
プロに学ぶチラシ作り講座	自治会・町内会の会報やボランティア団体が作成する広報誌をテーマに専門家からチラシ作りの基礎を学ぶ講座。	3月

事業名	目的・内容	実施時期・回数
にここ相談室 【後方支援】	民生委員経験者が身近な相談窓口となり、子育て世代～高齢者世代まで幅広く地域住民のちょっとしたお困りごとなどを解決していく方法をサポートしていく。	相談室36回 毎週月曜日AM

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ふれあい・いきいきサロン 【後方支援】	平戸平和台地区地域運営協議会で立ち上げた地域交流拠点にこここハウス活性化プログラムのひとつ。地域の人が気軽に立ち寄ることができる交流サロン。	毎月 第2・4火曜日